

研究実施のお知らせ

2024年8月22日 ver.1.0

研究課題名

島根大学病院における便通異常外来の診療状況

研究の対象となる方

島根大学医学部附属病院で2015年9月から2024年8月までに便通異常外来を受診された方

研究の目的・意義

当院では2015年から「便通異常外来」を開設し、主に便秘や下痢、腹痛の治療に難渋する症例を受け入れています。精密検査の結果、広く知られている胃腸の病気以外に、見過ごされやすい胃腸の病や精神疾患、免疫異常がみつかることも少なくありません(例えば、結核性腹膜炎、ポルフィリン症、上腸間膜動脈症候群、慢性骨盤痛症候群、クローン病や潰瘍性大腸炎、機能的ディスペプシア、胆摘後症候群、腹腔動脈圧迫症候群、抑うつなど)。現在国内で「便通異常」専門外来を開設している施設は極めて少なく、当院の経験症例を解析し公開することは極めて重要なことであると考えます。そこで今回、当院の便通異常外来を受診した症例を集計し、原因疾患や治療について検討することを予定しました。

研究の方法

診療録から収集した、当院で2015年9月から2024年8月までに便通異常外来を受診された方を対象とします。診療録から収集するデータは、対象者の背景(年齢、性別、併存疾患、常用薬など)や診断方法(レントゲンやCT、内視鏡、血液検査など)、バイタルサイン、身体所見、血液検査値、疾患スコア(日常診療で用いるスコア:便秘スコア、出雲スケール)、背景疾患や最終診断、治療法、治療経過を予定しています。

収集したデータは、島根大学医学部内科学講座(内科学第二)内の外部から容易にアクセスできないPCに保管いたします。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。研究対象者の識別は研究用の識別番号により行い、その研究対象者リストは収集データとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管いたします。外部への持ち出しは行いません。研究に関するデータ及び関連資料は研究の最終公表後10年間保管し、その後個人の識別ができない状態で廃棄(消去)いたします。

研究の期間

2024年9月(研究許可後)～2025年8月

研究組織

この研究は島根大学医学部内科学講座(内科学第二)が行います。

研究責任者(研究で利用する情報の管理責任者):

島根大学医学部内科学講座(内科学第二) 岡 明彦

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。なお、利用停止のお申し出は、2025 年 3 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者:

島根大学医学部内科学講座(内科学第二) 岡 明彦(おか あきひこ)

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2190